

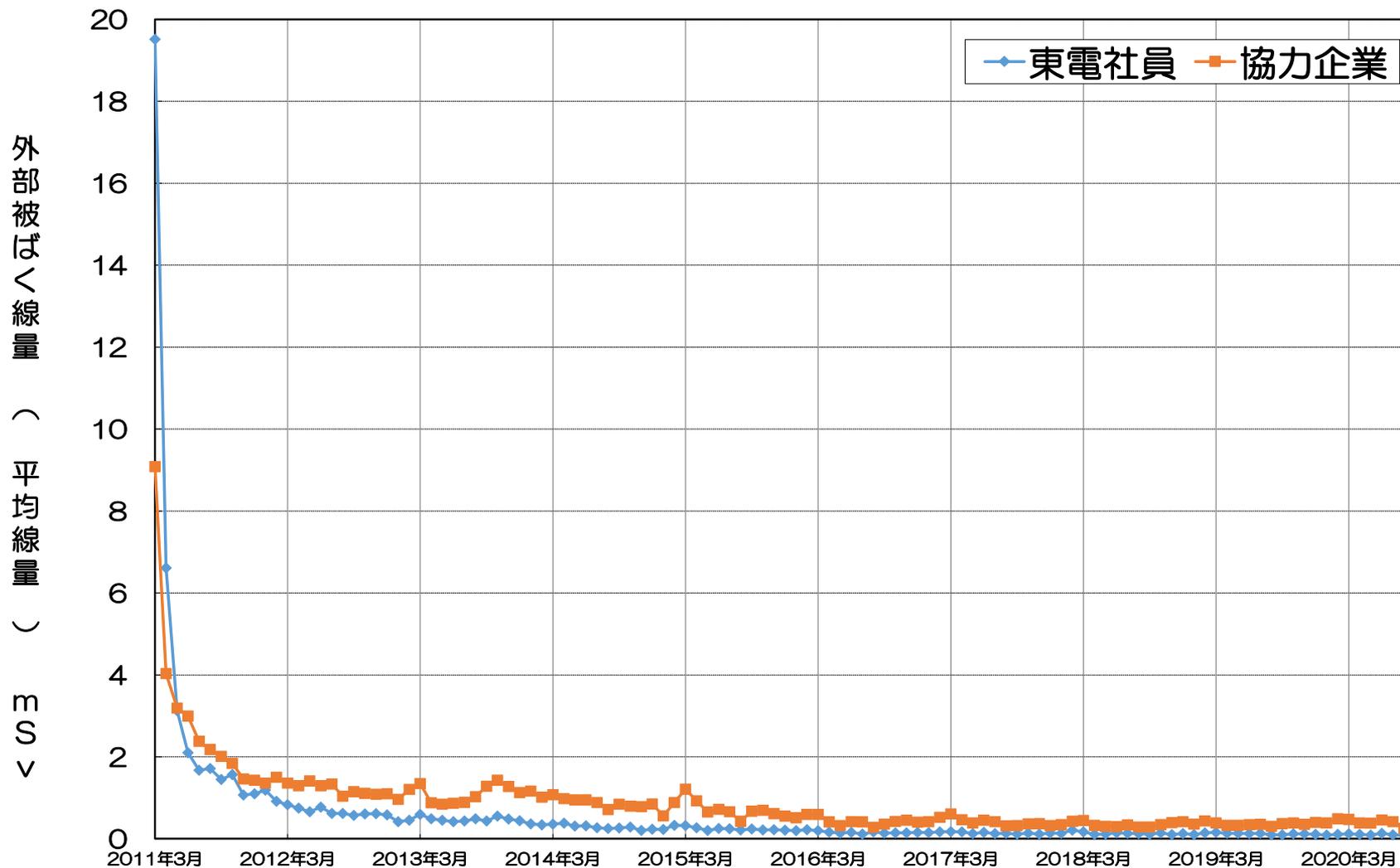
福島第一原子力発電所従事者の 被ばく線量の全体概況について

2020年10月30日

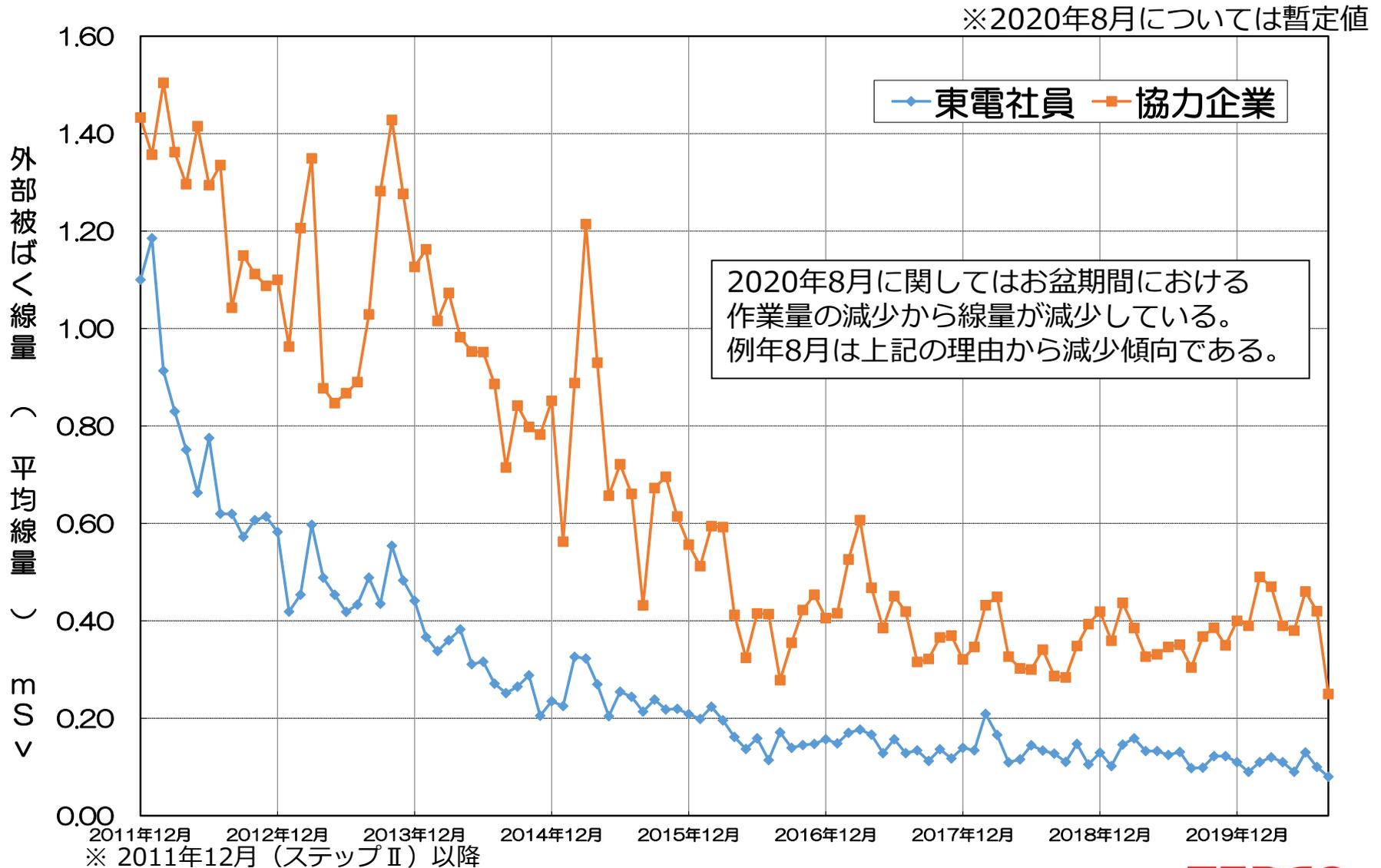
東京電力ホールディングス株式会社

①発災以降の月別外部被ばく線量の低減状況（月平均線量）

※2020年8月については暫定値

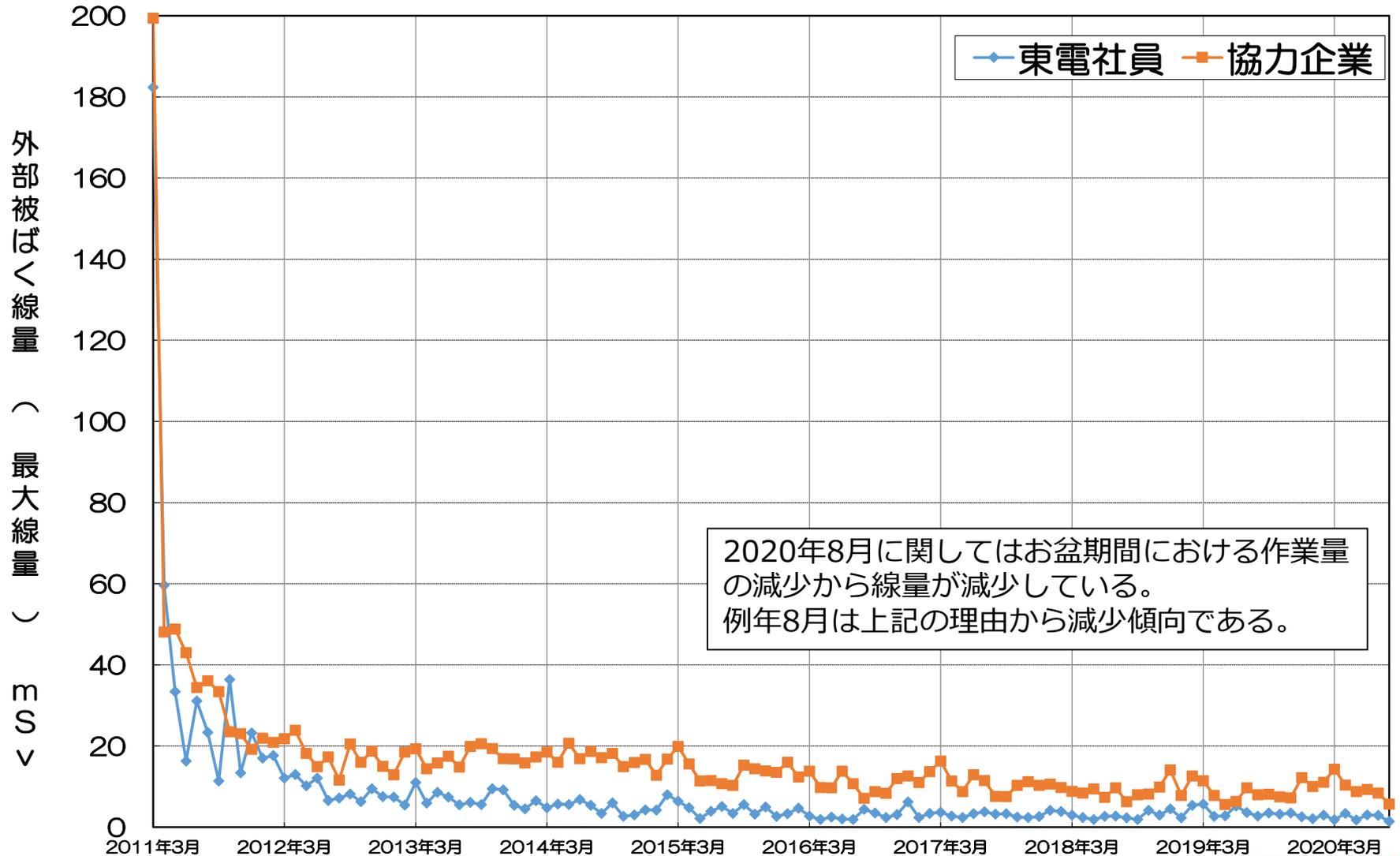


②2011年12月以降の外部被ばく線量推移（月平均線量）



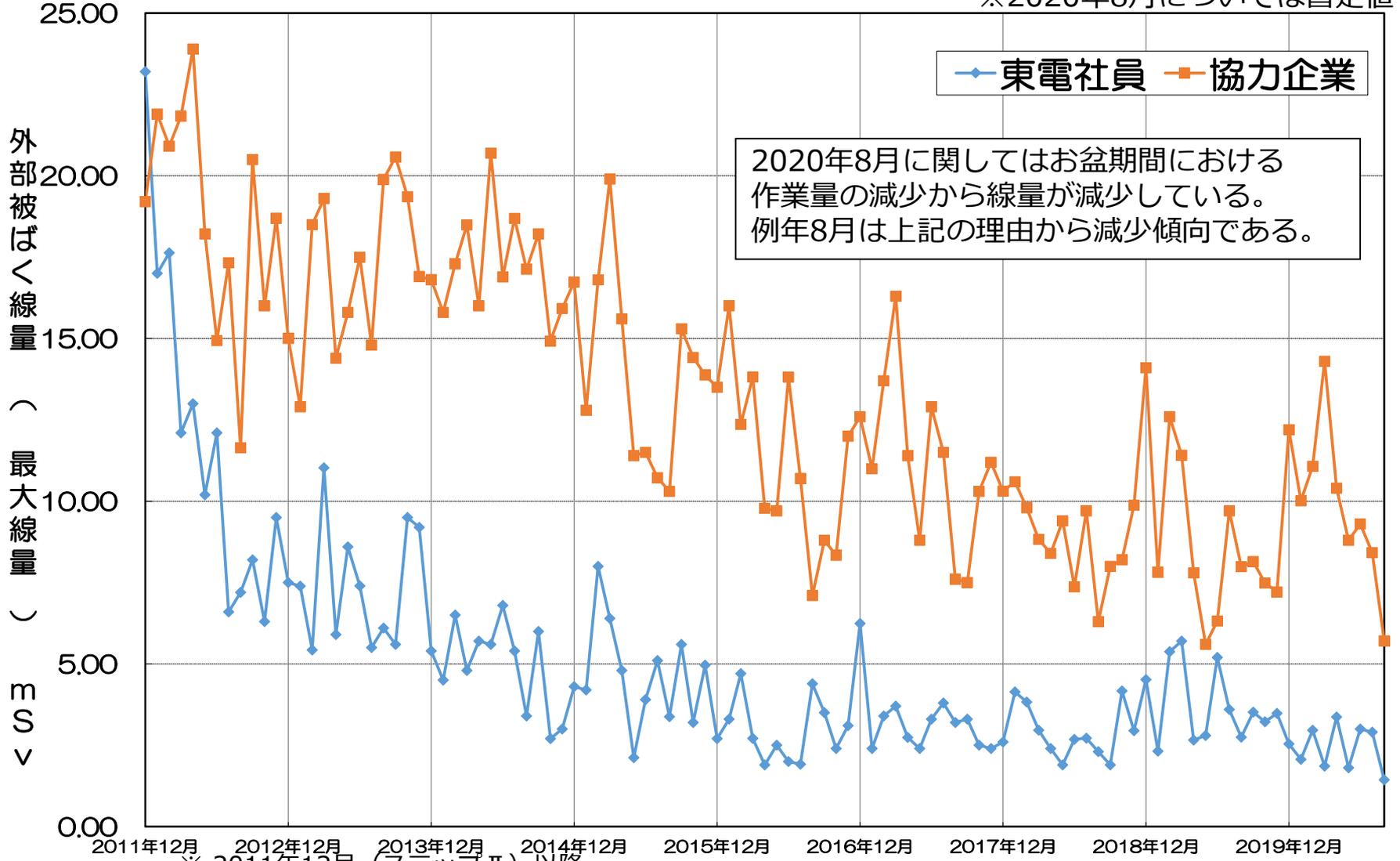
③発災以降の月別外部被ばく線量の低減状況（月最大線量）

※2020年8月については暫定値



④2011年12月以降の外部被ばく線量推移（月最大線量）

※2020年8月については暫定値



※ 2011年12月（ステップⅡ）以降



⑤放射線業務従事者の累積外部被ばく線量 2020年度分

区分(mSv)	2020.4月～2020.8月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え～100以下	0	0	0
50超え～75以下	0	0	0
20超え～50以下	0	0	0
10超え～20以下	0	157	157
5超え～10以下	7	585	592
1超え～5以下	145	1,343	1,488
1以下	995	4,888	5,883
計	1,147	6,973	8,120
最大(mSv)	7.28	17.30	17.30
平均(mSv)	0.39	1.49	1.34

○2020年度（4月～8月）に作業実績のある
8,120名のうち

8,120名（100%）は50mSv以下

8,120名（100%）は20mSv以下

7,371名（90.8%）は5mSv以下



○全ての作業者について被ばく線量は線量限度内(50mSv/年)で管理。

○2011.10月以降、有意な内部取り込みは認められていない。

※2020年8月については暫定値

⑥2016年4月1日を始期とする5年間（5年目）の累積外部被ばく線量

区分(mSv)	2016.4月～2020.8月		
	東電社員	協力企業	計
100超え	0	0	0
75超え～100以下	0	26	26
50超え～75以下	0	279	279
20超え～50以下	75	1,889	1,964
10超え～20以下	147	2,339	2,486
5超え～10以下	190	2,453	2,643
1超え～5以下	594	4,600	5,194
1以下	1,354	9,831	11,185
計	2,360	21,417	23,777
最大(mSv)	49.05	86.19	86.19
平均(mSv)	3.05	6.63	6.27

- 2016.4～2020.8に作業実績のある23,777名のうち
23,777名（100%）は100mSv以下
23,472名（98.7%）は50mSv以下
21,508名（90.5%）は20mSv以下



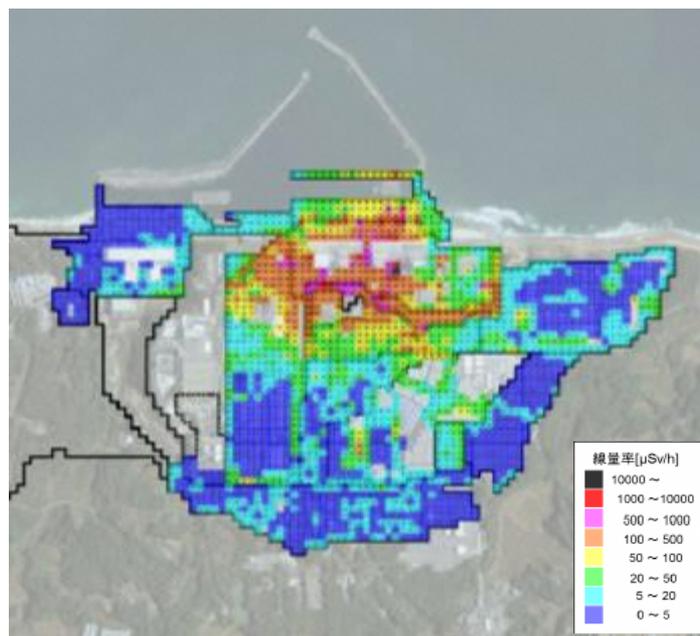
- 全ての作業者の被ばく線量については、100mSv/5年の線量限度を超えないよう、発電所では80mSv/5年の管理している。
- 75mSvを超過している26名の内10名は2020年10月9日時点で従事者登録解除済である。
 残りの16名に関しては、低線量エリアでの作業や、現場出向しない措置を講じている。また、80mSv/5年を超えるおそれがある場合は、今後の線量管理計画を立案し管理している。
- 現時点で75mSvを超過していない作業者についても、線量限度警告リストを毎月確認し、線量限度値を超えないように管理している。

※2020年8月については暫定値

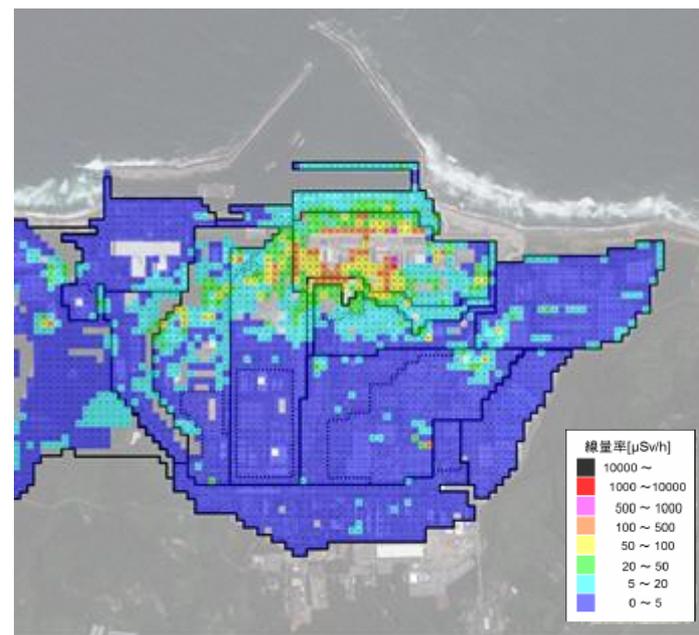
⑦環境線量率の低下

- 構内の環境改善によって、構内全域にわたって環境線量率が低下している。2019年度時点で、構内の約96%が全面マスク不要エリアとなった。

2014年度



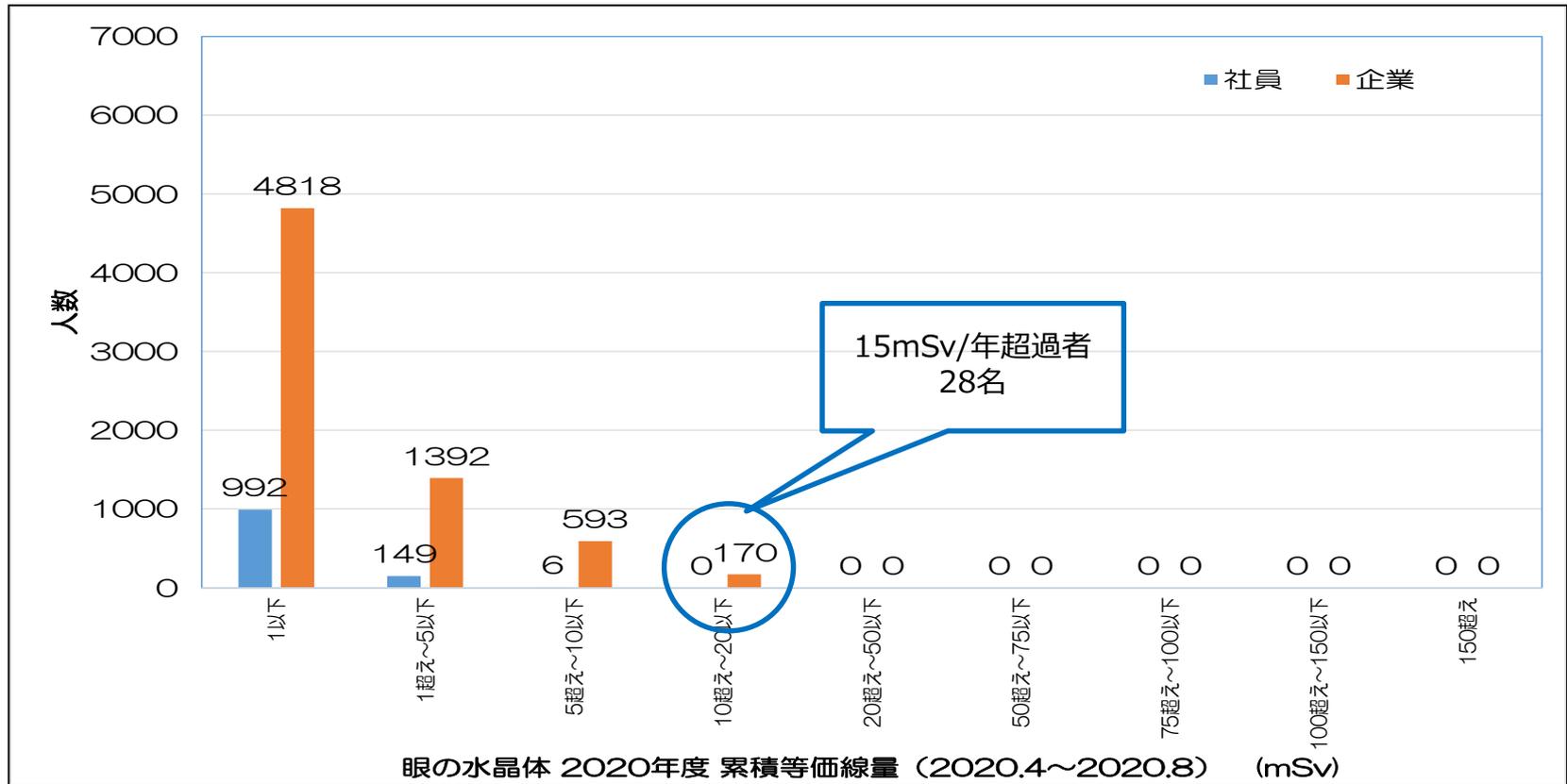
2019年度



※ 空白部分は未測定エリア

⑧眼の水晶体 等価線量分布（2020年度8月末）

- 2020年度の目の水晶体の最大線量は、18.36m S v。
- 15m S v /年を超過者は28名、うち、4名は既に従事者登録解除済み。



⑬年度総実効線量の推移

- 総実効線量は年々低下している。なお、2020年8月時点では前年同時期とほぼ同等で推移している。

